

## 7. お住まいの地域の住みやすさについての評価及び今後の定住意向

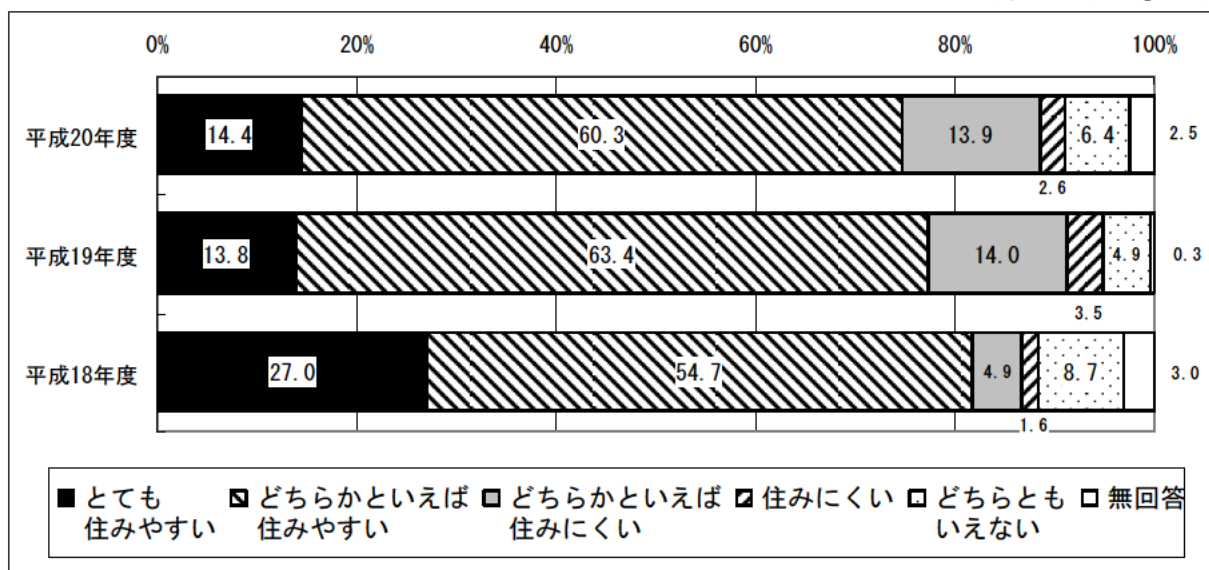
### (1) お住まいの地域の住みやすさについての評価

問2-1 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

(回答は単一選択式)

#### ○全体

(集計資料 p. 96)



#### 平成20年度

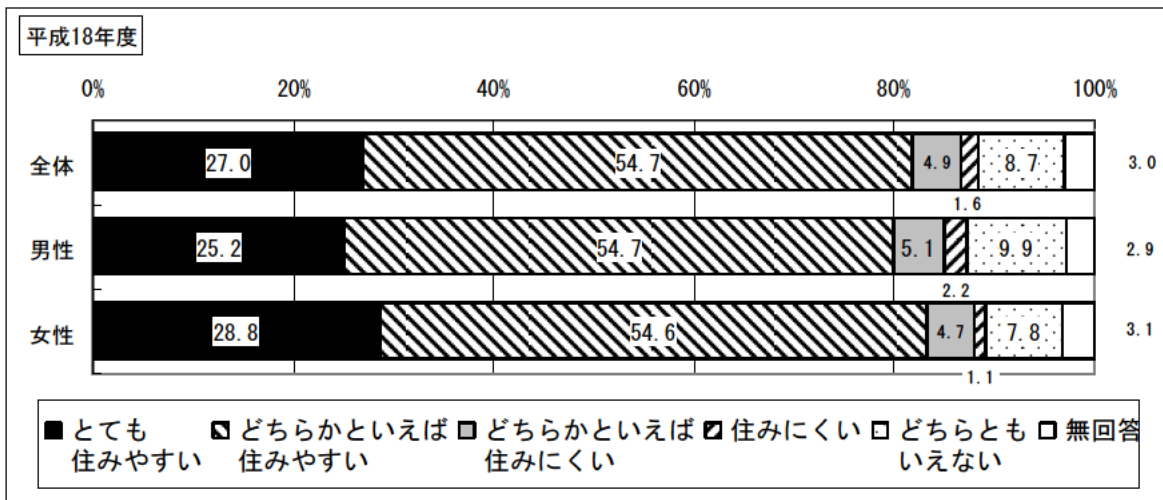
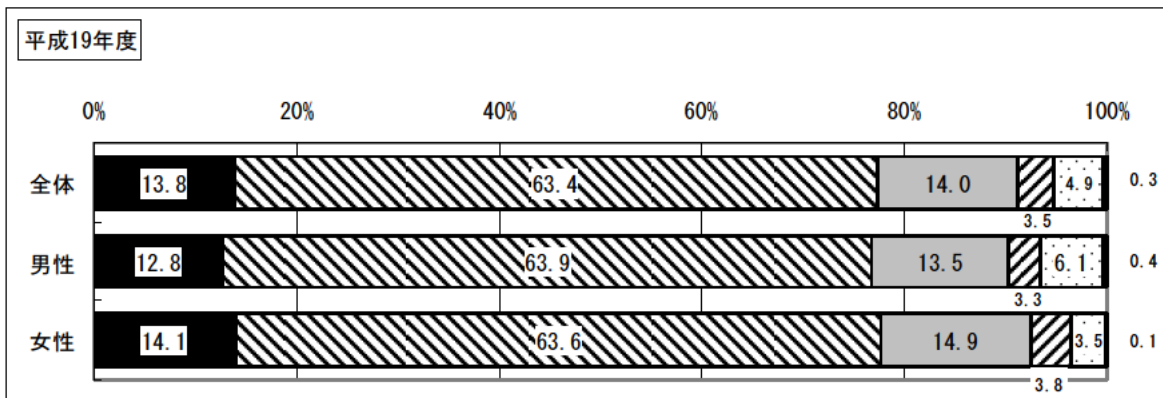
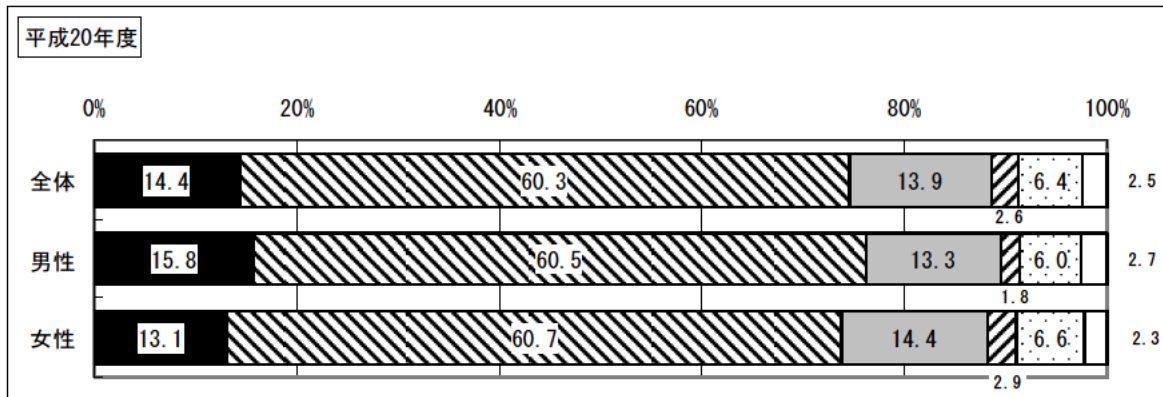
全体では、「どちらかといえば住みやすい」が約6割(60.3%)を占め、これに「とても住みやすい」(14.4%)を合わせた“住みやすい”と答えた人は74.7%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(13.9%)と「とても住みにくい」(2.6%)を合わせた“住みにくい”と答えた人は16.5%となっている。

#### 平成18年度、平成19年度との比較

「とても住みやすい」と答えた人は18年度(27.0%)から19年度(13.8%)にかけて約半数となっており、“住みやすい”と答えた人も4.5ポイント減少している。19年度から20年度にかけては大きな変化はみられない。

○性別

(集計資料 p.96)



平成20年度

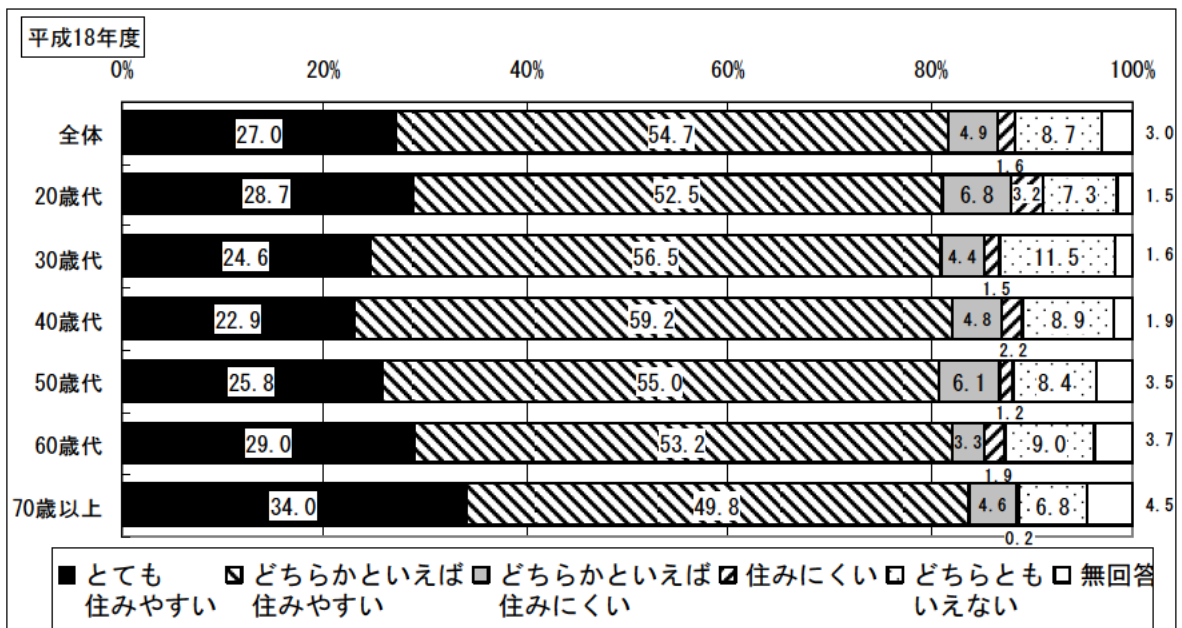
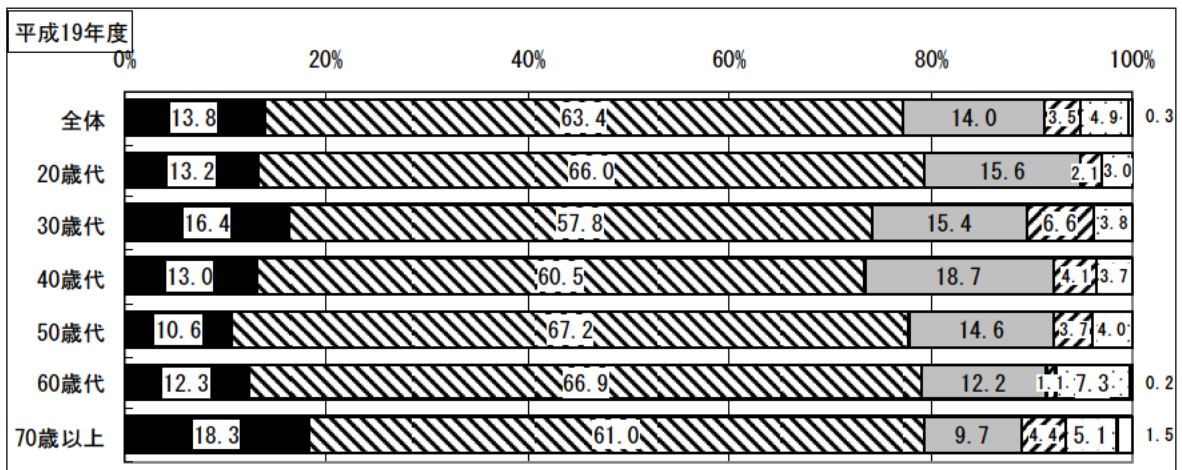
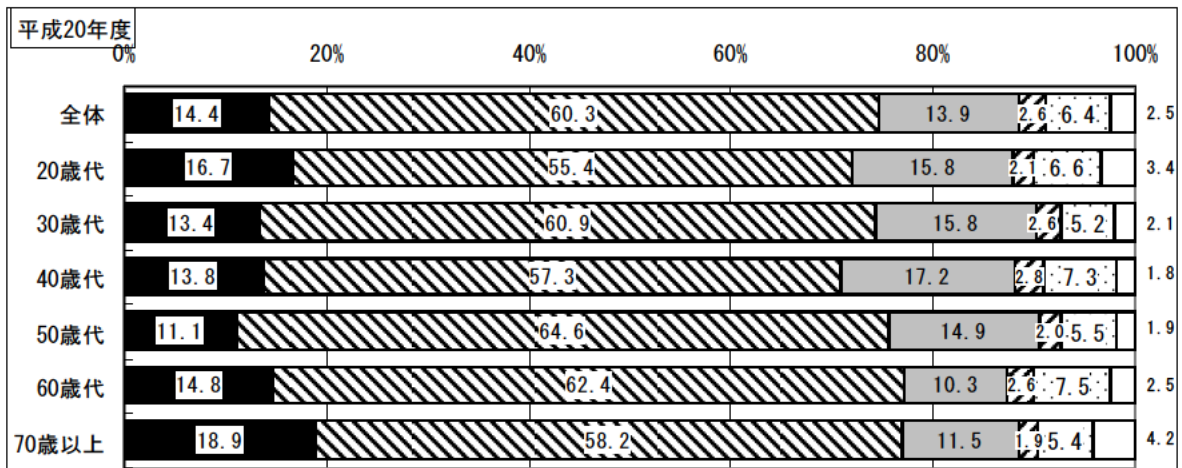
“住みやすい”と答えた人は、男性が76.3%、女性が73.8%となっている。

平成18年度、平成19年度との比較

“住みやすい”と答えた人は、18年度から20年度にかけて男女ともに減少しているが、減少幅をみると男性(3.6ポイント)よりも女性(9.6ポイント)の方が大きい。

○年齢層別

(集計資料 p. 96)



## 平成 20 年度

“住みやすい”と答えた人は、全ての年齢層で7割を超えている。

## 平成 18 年度、平成 19 年度との比較

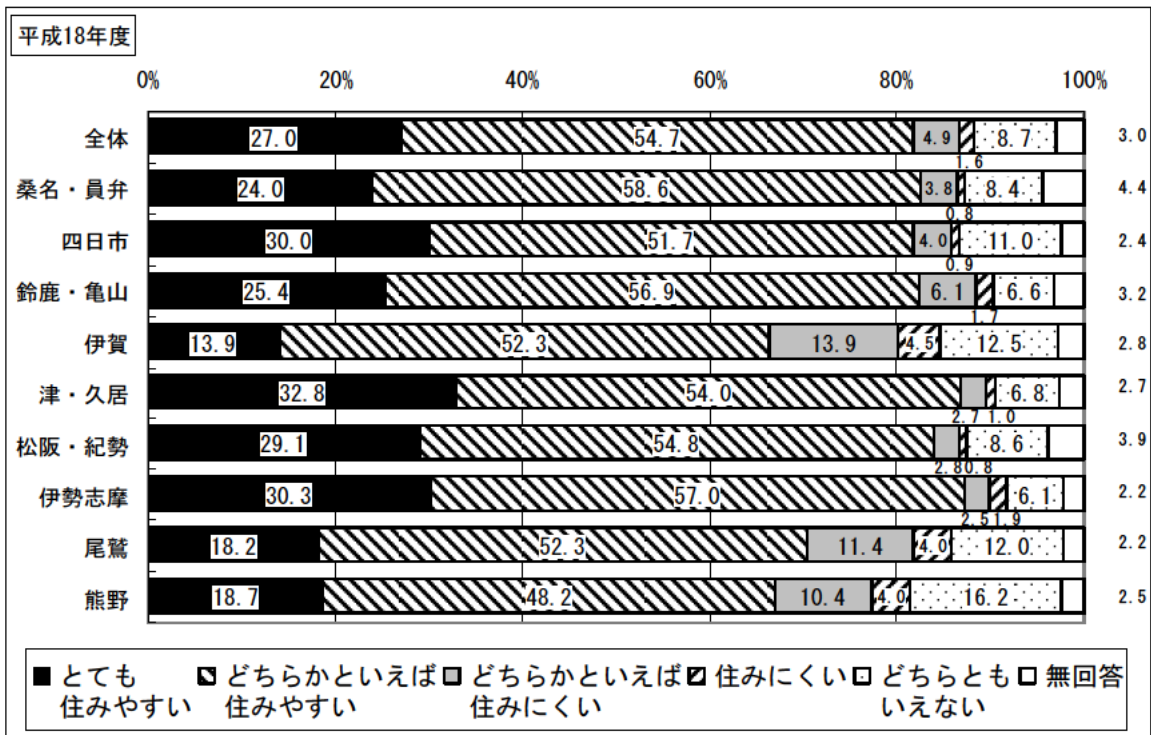
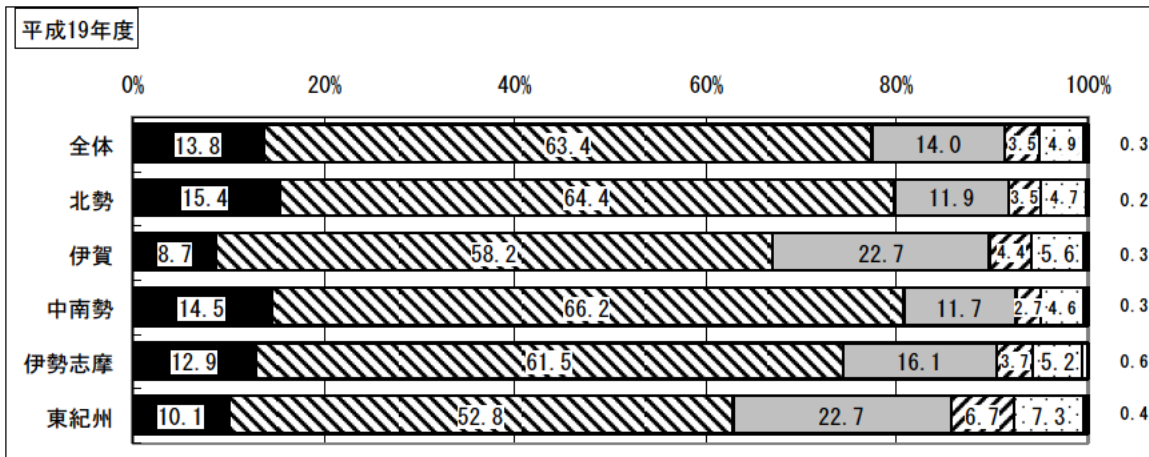
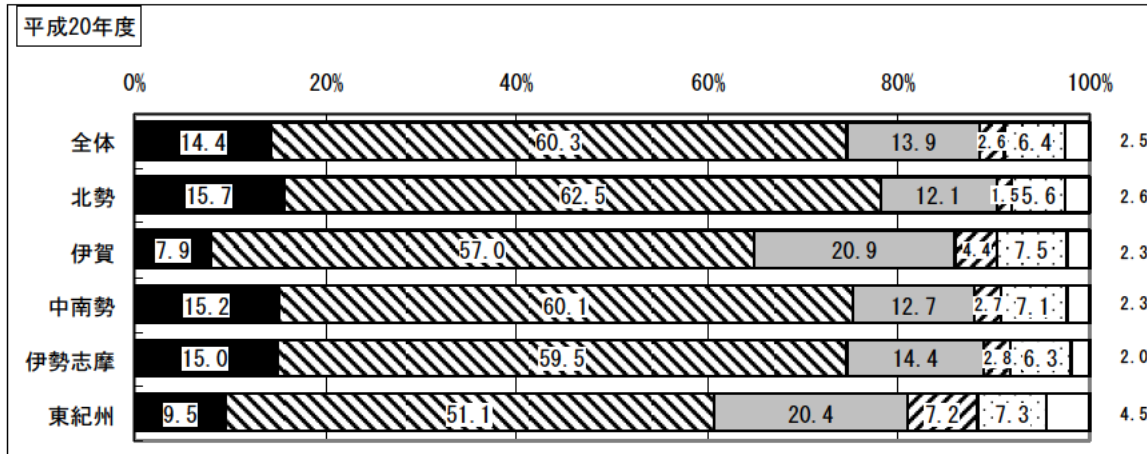
「とても住みやすい」と答えた人は、18年度から19年度にかけていずれの年齢層でも減少しており、特に20歳代、50歳以上では大きく減少している。19年度から20年度にかけては、大きな差はみられない。

また、“住みやすい”と答えた人は18年度から19年度にかけて全ての年齢層で減少しており、中でも30歳代では6.9ポイント、40歳代では8.6ポイント減少している。19年度から20年度にかけては30歳代を除く全ての年齢層で減少しており、20歳代では7.1ポイント減少している。



○地域別

(集計資料 p. 96)



#### **平成 20 年度**

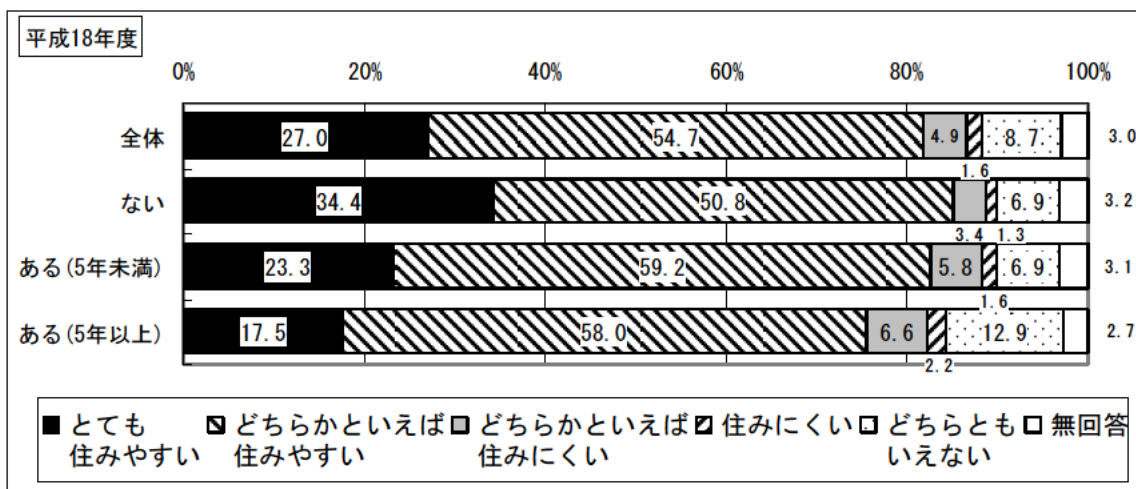
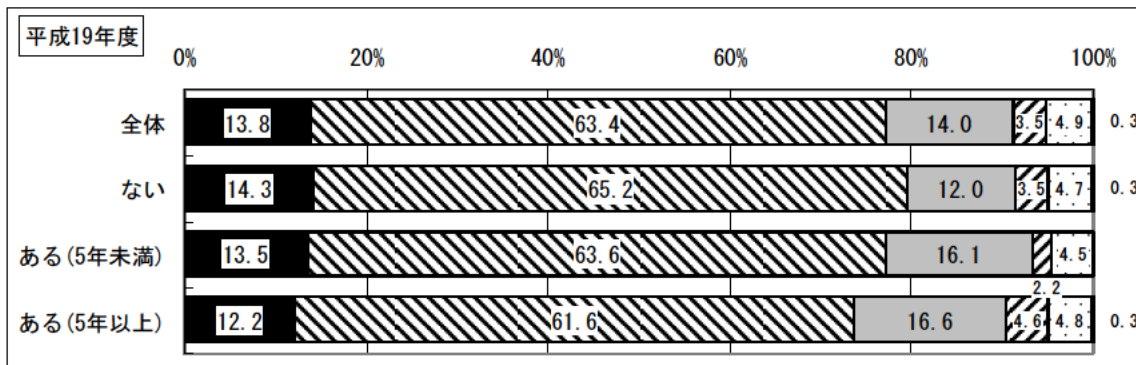
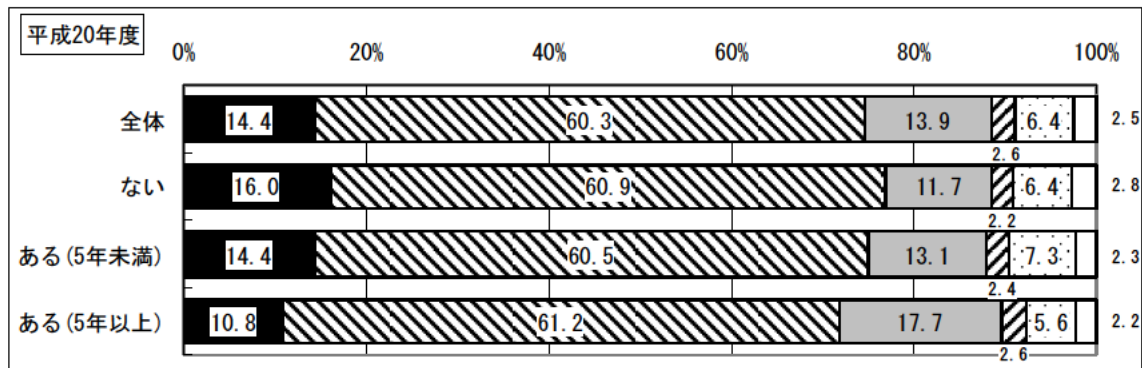
「とても住みやすい」と答えた人は、北勢地域（15.7%）、中南勢地域（15.2%）、伊勢志摩地域（15.0%）で15%以上となっているのに対し、伊賀地域（7.9%）、東紀州地域（9.5%）では1割に満たない。

#### **平成 18 年度、平成 19 年度との比較**

19年度と比較すると、“住みやすい”と答えた人は、伊勢志摩を除く全ての地域で減少しており、最も減少幅が大きいのは中南勢地域で、5.4ポイント減少している。

○県外在住の経験別

(集計資料 p. 96)



平成 20 年度

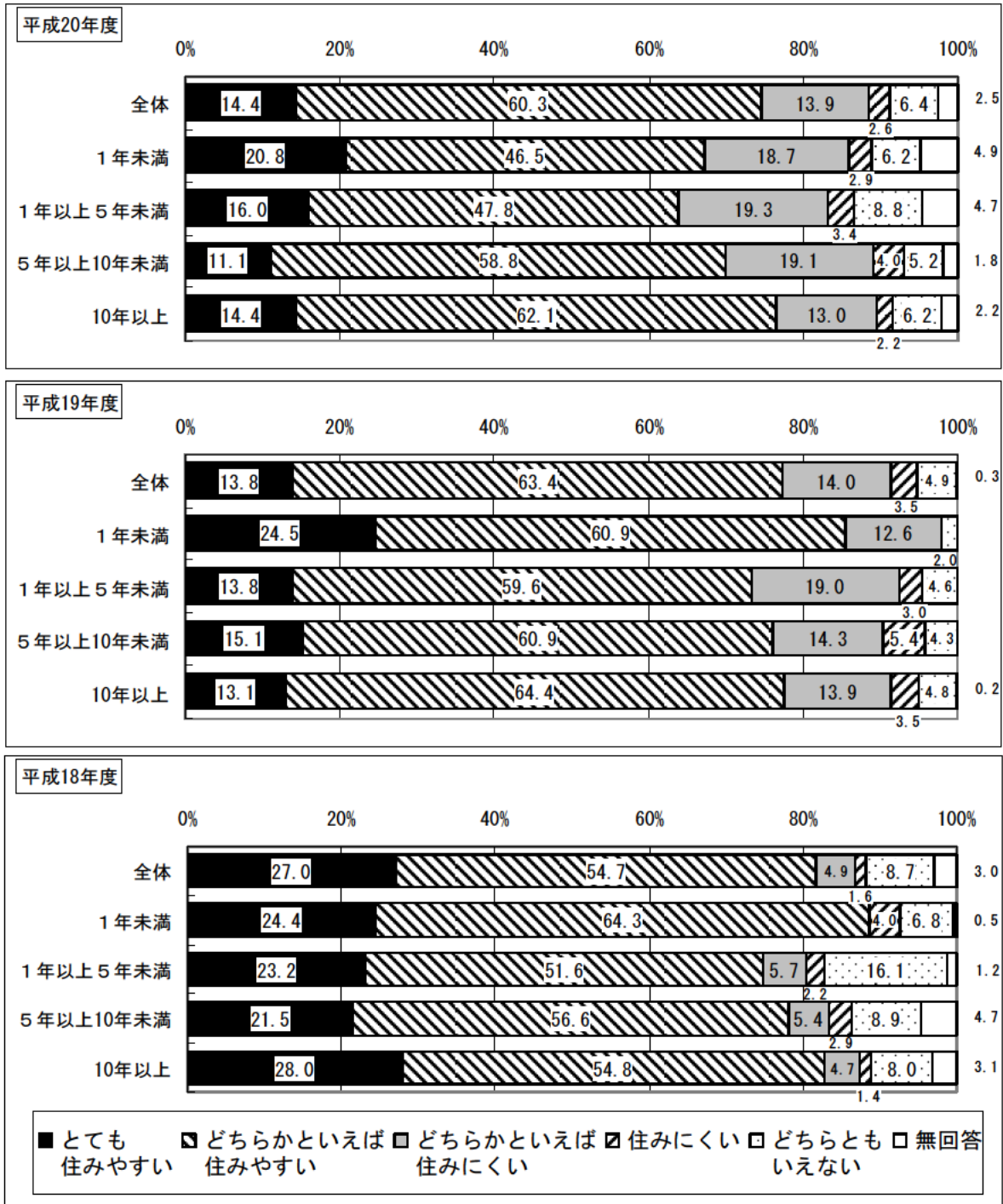
“住みやすい”と答えた人は、県外在住経験がない人が 76.9%、ある（5年未満）の人が 74.9%、ある（5年以上）の人が 72.0%となっている。

平成 18 年度、平成 19 年度との比較

18 年度、19 年度と比較すると、いずれの階層においても“住みやすい”と感じている人は年々減少している。

○居住年数別

(集計資料 p. 96)



平成20年度

“住みやすい”と答えた人は、居住年数が10年以上の人が最も多く76.5%となっており、次いで5年以上10年未満が69.9%、1年未満が67.3%、1年以上5年未満が63.8%となっている。

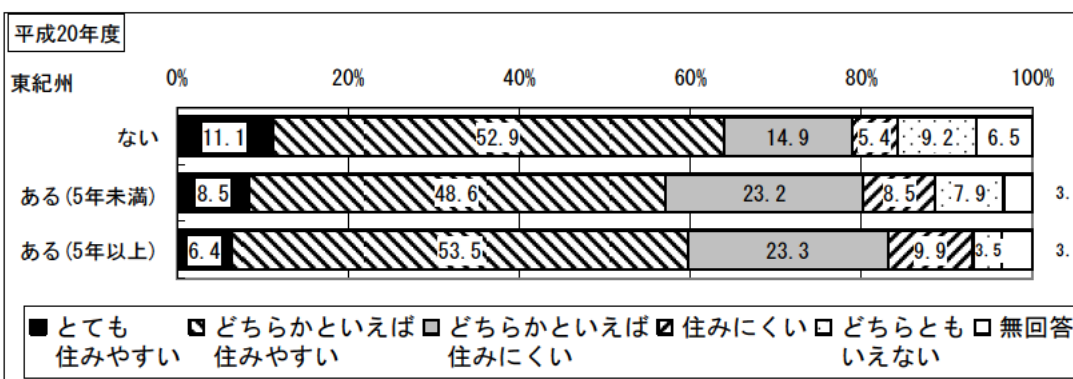
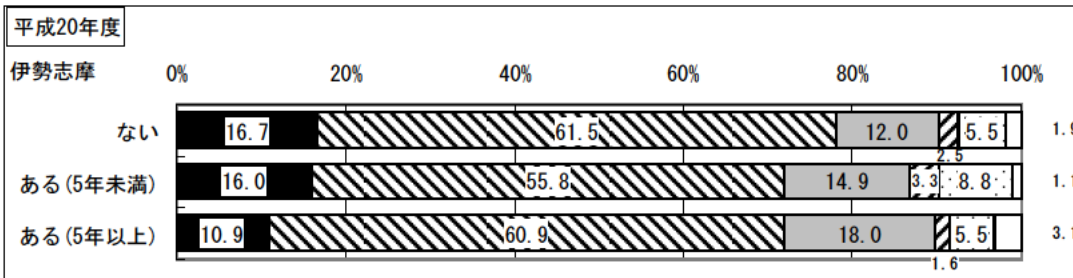
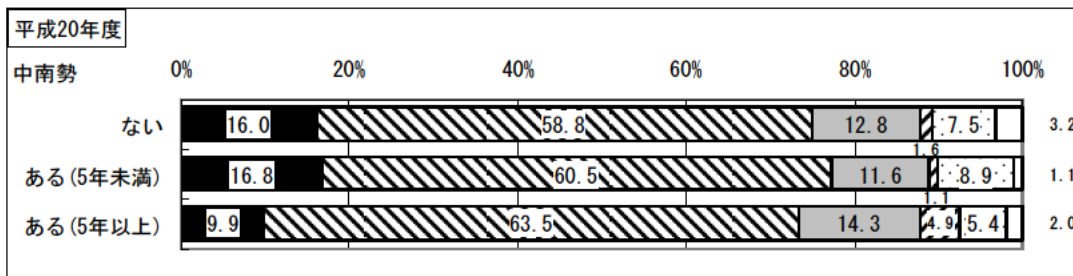
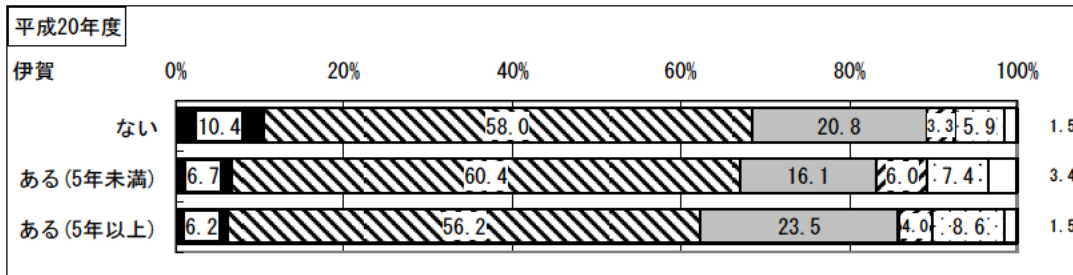
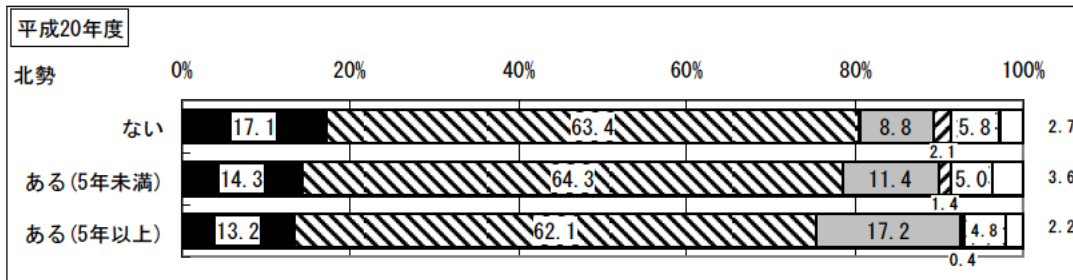
平成18年度、平成19年度との比較

“住みやすい”と答えた人は、18年度から20年度にかけて、全ての階層で年々減少している。19年度と20年度を比較すると、1年未満は18.1ポイント、1年以上5年未満は9.6ポイント減少しており、居住年数の短い人ほど“住みやすい”と感じる人が少なくなっている。



○地域・県外在住経験別

(集計資料 p. 97)



平成20年度

「住みやすい」と答えた人は、中南勢地域を除く全ての地域において、県外在住経験が「ある人」よりも「ない」人の方が多くなっている。

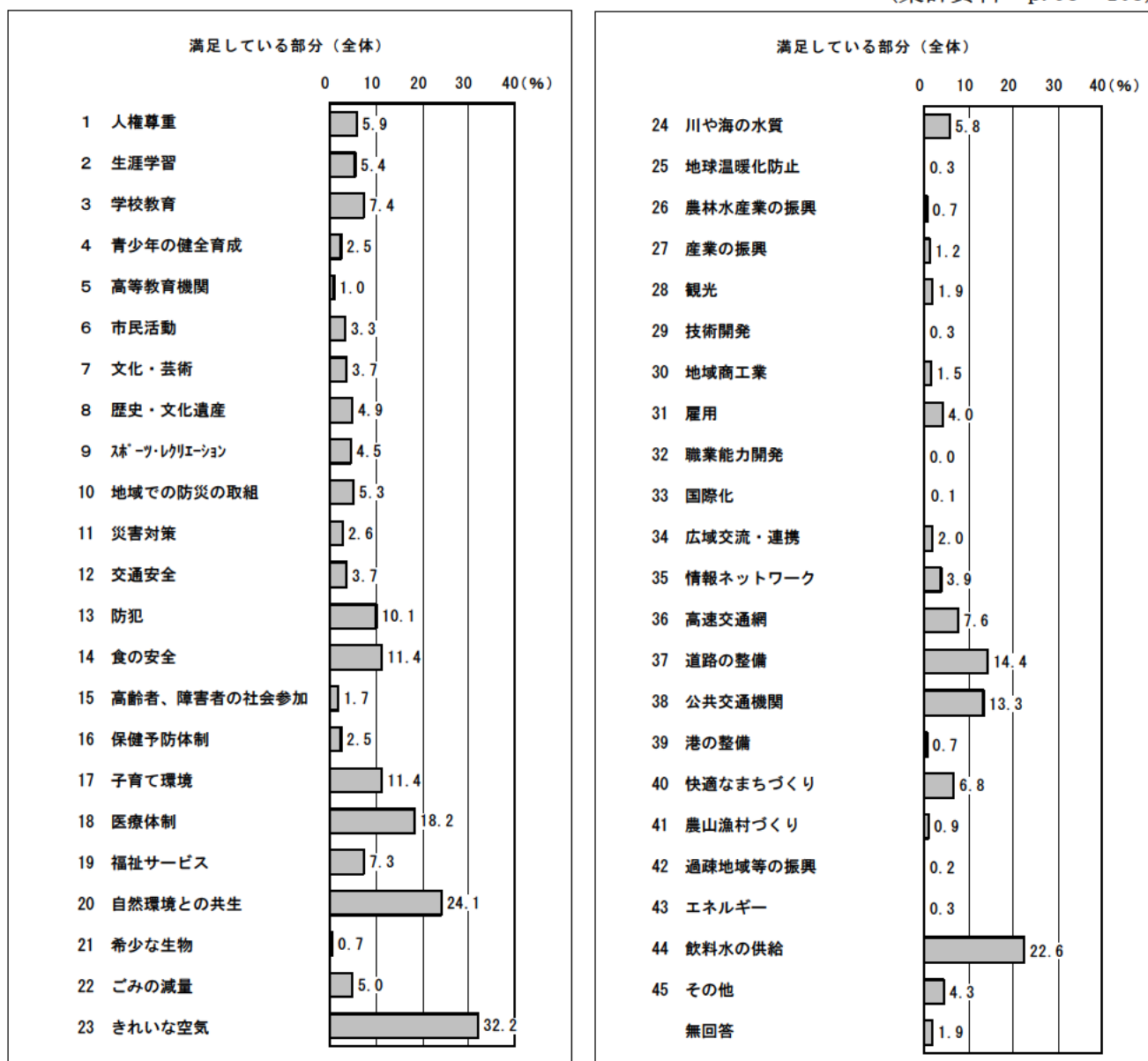
## (2) 住みやすいと感じている点

【問2-1で、1または2に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-2 現在お住まいの地域が住みやすいと感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分に満足されているからですか。(回答は3つ選択式)

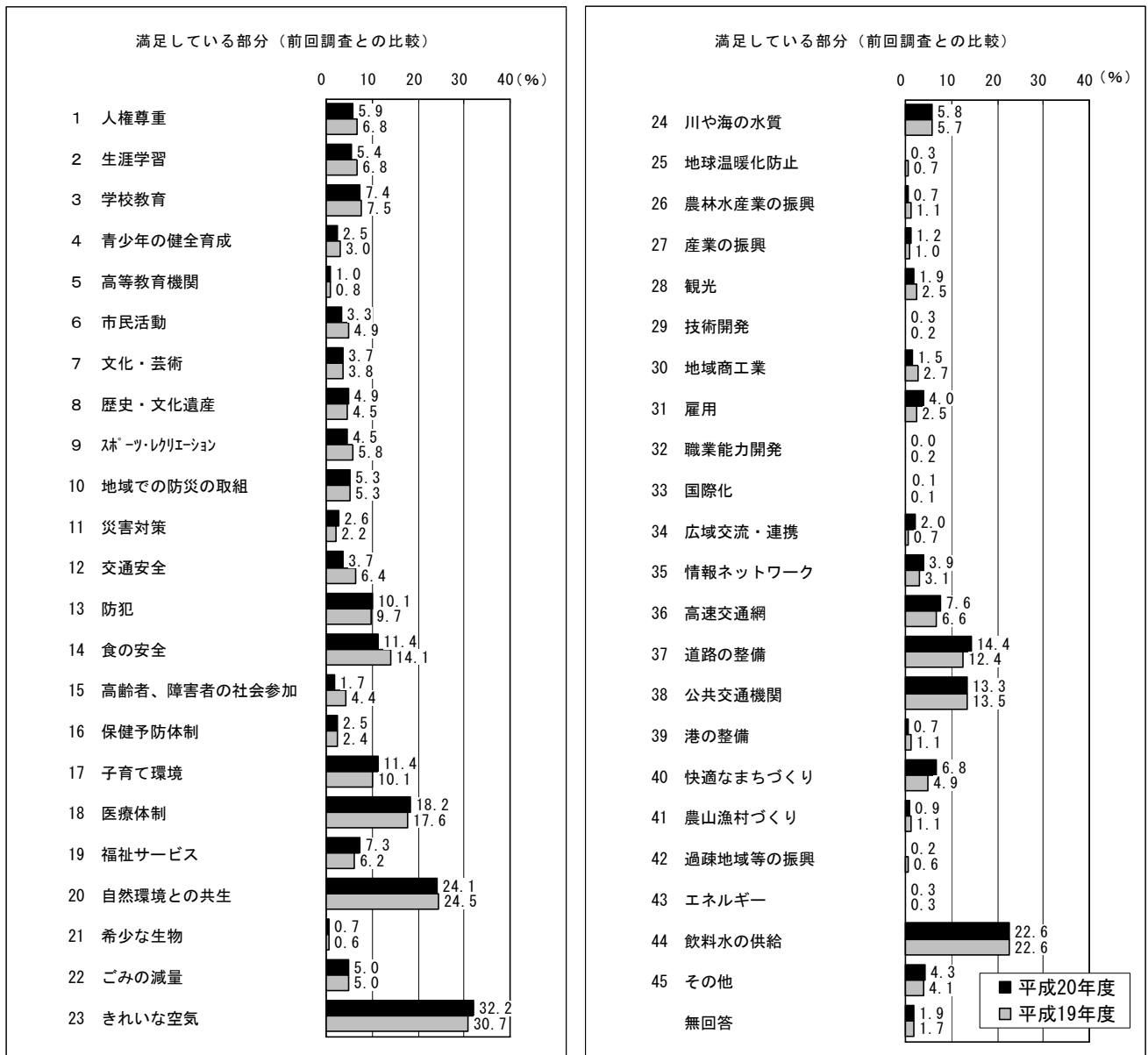
### ○全体

(集計資料 p. 98~103)



住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が32.2%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(24.1%)、「飲料水の供給」(22.6%)が2割台で、「医療体制」(18.2%)、「道路の整備」(14.4%)、「公共交通機関」(13.3%)、「食の安全」「子育て環境」(ともに11.4%)、「防犯」(10.1%)が1割台で続いている。

## ○前回調査との比較



19年度と比較しても、大きな変化はみられない。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 32.2	20. 自然環境との共生 24.1	44. 飲料水の供給 22.6	18. 医療体制 18.2	37. 道路の整備 14.4
20歳代	23. きれいな空気 34.2	20. 自然環境との共生 27.2	37. 道路の整備 17.9	38. 公共交通機関 15.4	44. 飲料水の供給 15.2
30歳代	17. 子育て環境 24.8	23. きれいな空気 24.5	20. 自然環境との共生 23.6	44. 飲料水の供給 15.6	37. 道路の整備 15.4
40歳代	20. 自然環境との共生 23.6	23. きれいな空気 23.1	38. 公共交通機関 18.8	44. 飲料水の供給 16.7	17. 子育て環境 16.0
50歳代	23. きれいな空気 37.6	20. 自然環境との共生 26.1	44. 飲料水の供給 21.2	18. 医療体制 19.0	37. 道路の整備 14.5
60歳代	23. きれいな空気 35.8	44. 飲料水の供給 31.2	20. 自然環境との共生 23.5	18. 医療体制 22.2	37. 道路の整備 14.0
70歳以上	23. きれいな空気 35.0	44. 飲料水の供給 28.0	18. 医療体制 23.8	20. 自然環境との共生 23.2	14. 食の安全 16.1

- ・ 全体の上位5項目では、「きれいな空気」「自然環境との共生」「飲料水の供給」は全ての年齢層で上位5項目としてあげられており、「医療体制」は50歳以上で、「道路の整備」は40歳代、70歳以上を除く年齢層で上位5項目にあげられている。
- ・ 上記以外の項目では、「子育て環境」が30歳代で第1位、40歳代でも第5位にあげられている。また、「公共交通機関」は20歳代、40歳代で、「食の安全」は70歳以上で上位5項目にあげられている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 32.2	20. 自然環境との共生 24.1	44. 飲料水の供給 22.6	18. 医療体制 18.2	37. 道路の整備 14.4
北勢地域	44. 飲料水の供給 22.9	23. きれいな空気 21.5	18. 医療体制 21.1	38. 公共交通機関 18.5	20. 自然環境との共生 18.2
伊賀地域	23. きれいな空気 48.7	20. 自然環境との共生 35.8	44. 飲料水の供給 23.0	14. 食の安全 13.3	37. 道路の整備 12.4
中南勢地域	23. きれいな空気 35.4	20. 自然環境との共生 23.4	18. 医療体制 21.9	44. 飲料水の供給 19.7	37. 道路の整備 17.3
伊勢志摩地域	23. きれいな空気 42.2	20. 自然環境との共生 33.3	44. 飲料水の供給 25.2	14. 食の安全 14.3	24. 川や海の水質 11.7
東紀州地域	23. きれいな空気 62.0	20. 自然環境との共生 38.0	44. 飲料水の供給 31.4	24. 川や海の水質 22.4	14. 食の安全 21.1

- ・ 全体の上位5項目では、「きれいな空気」「自然環境との共生」「飲料水の供給」が全地域で上位5項目としてあげられており、「医療体制」「道路の整備」はそれぞれ2地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「食の安全」は3地域で、「川や海の水質」が2地域で、「公共交通機関」が1地域で上位5位までに入っている。



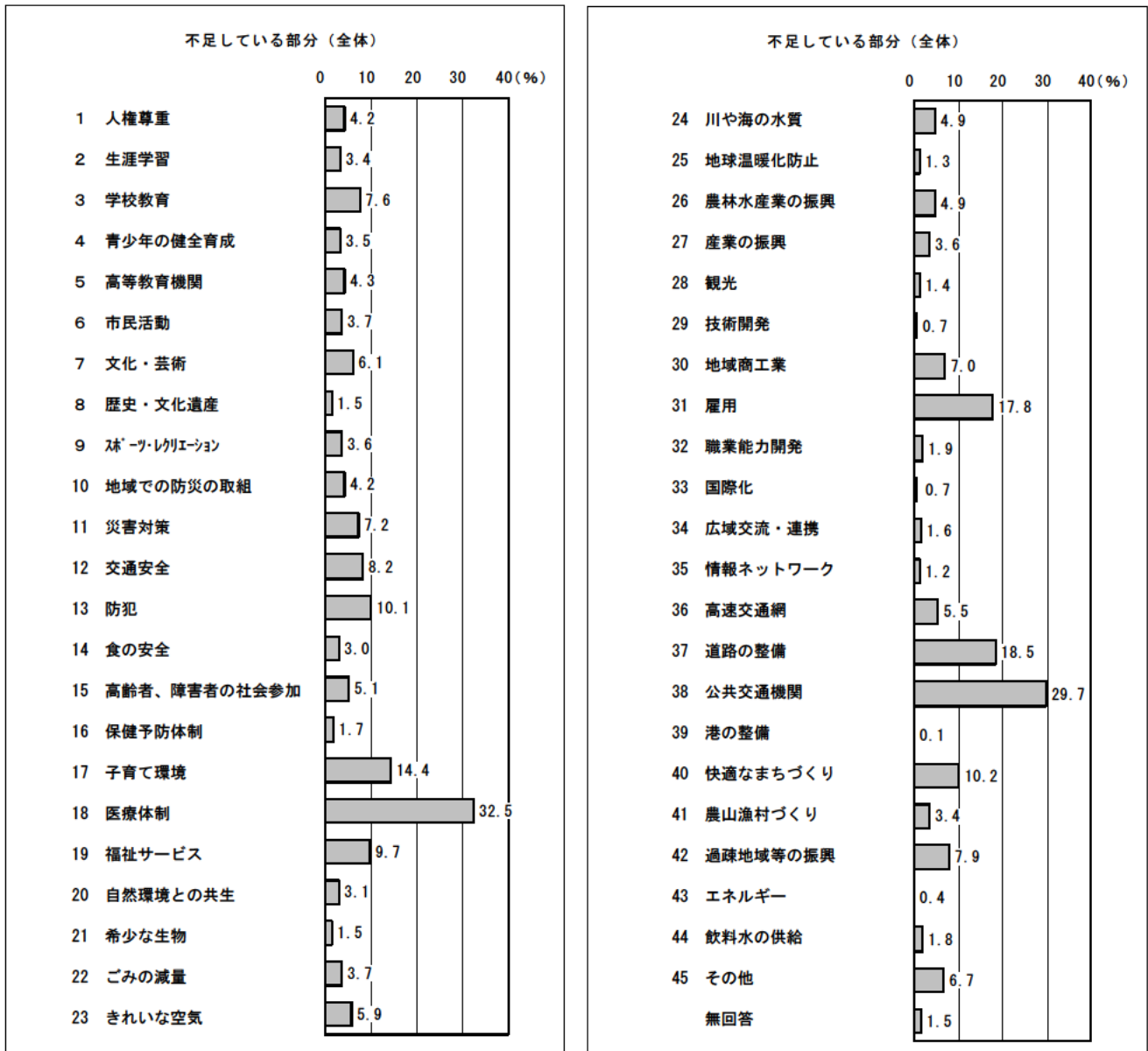
### (3) 住みにくいと感じている点

【問2-1で、3または4に○をつけた方だけにおうかがいします】

問2-3 現在お住まいの地域が住みにくいとお感じになるのは、問1の44項目のうち、どの部分が不足しているからですか。(回答は3つ選択式)

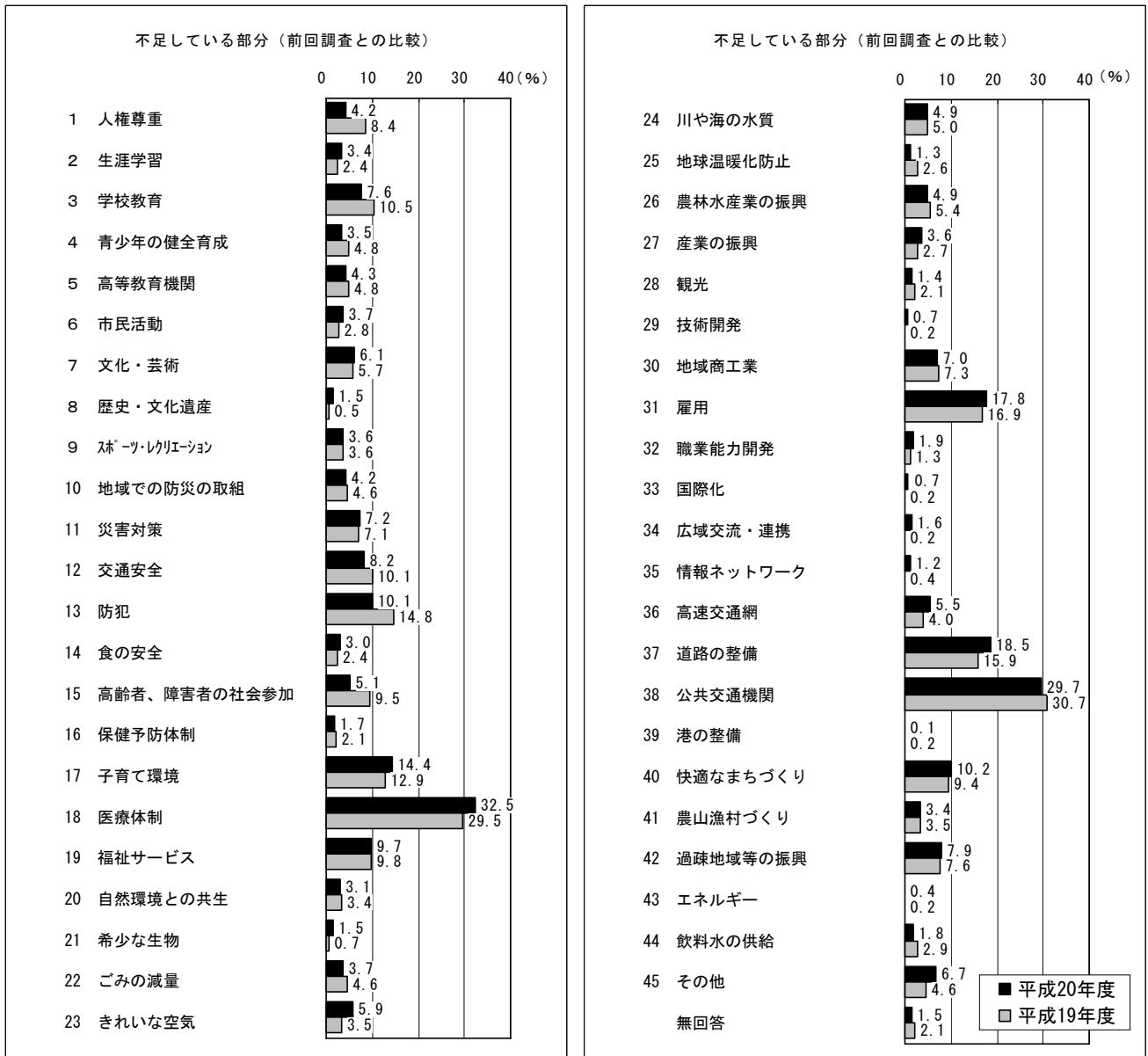
#### ○全体

(集計資料 p.104~109)



住みにくいと感じている点については、「医療体制」(32.5%)、「公共交通機関」(29.7%)が多く、これらに次いで「道路の整備」(18.5%)、「雇用」(17.8%)、「子育て環境」(14.4%)、「快適なまちづくり」(10.2%)、「防犯」(10.1%)が1割台が続いている。

## ○前回調査との比較



19年度と比較すると、「防犯」が4.7ポイント、「高齢者、障害者の社会参加」が4.4ポイント、「人権尊重」は4.2ポイント減少している。

○年齢層別 上位5項目

(単位：%)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 32.5	38. 公共交通機関 29.7	37. 道路の整備 18.5	31. 雇用 17.8	17. 子育て環境 14.4
20歳代	38. 公共交通機関 33.2	31. 雇用 23.2	17. 子育て環境 22.1	36. 高速交通網 21.4	37. 道路の整備 20.9
30歳代	17. 子育て環境 38.9	18. 医療体制 31.6	13. 防犯 24.0	38. 公共交通機関 22.2	37. 道路の整備 18.3
40歳代	18. 医療体制 42.4	38. 公共交通機関 37.8	31. 雇用 26.9	03. 学校教育 12.8	17. 子育て環境 12.1
50歳代	18. 医療体制 33.8	38. 公共交通機関 21.1	31. 雇用 18.6	37. 道路の整備 15.0	40. 快適なまちづくり 14.1
60歳代	38. 公共交通機関 32.7	18. 医療体制 27.6	37. 道路の整備 27.0	31. 雇用 13.0	40. 快適なまちづくり 12.9
70歳以上	38. 公共交通機関 31.0	18. 医療体制 24.6	37. 道路の整備 21.9	41. 農山漁村づくり 13.9	40. 快適なまちづくり 11.3

- ・全体の上位5項目では、「公共交通機関」が全ての年齢層で上位5項目にあげられている。また、「医療体制」は30歳以上で、「雇用」は20歳代、40～60歳代で、「道路の整備」は20～30歳代、50歳以上で、「子育て環境」は20～40歳代で上位5項目にあげられている。
- ・上記以外の項目では、「快適なまちづくり」が50歳以上で、「高速交通網」が20歳代で、「防犯」が30歳代で、「学校教育」が40歳代で、「農山漁村づくり」が70歳以上で上位5位までに入っている。

○地域別 上位5項目

(単位：%)

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 32.5	38. 公共交通機関 29.7	37. 道路の整備 18.5	31. 雇用 17.8	17. 子育て環境 14.4
北勢地域	38. 公共交通機関 25.0	18. 医療体制 22.0	37. 道路の整備 19.0	17. 子育て環境 18.0	40. 快適なまちづくり 14.0
伊賀地域	18. 医療体制 39.8	38. 公共交通機関 35.8	31. 雇用 21.4	37. 道路の整備 19.9	17. 子育て環境 14.9
中南勢地域	38. 公共交通機関 39.7	18. 医療体制 30.6	37. 道路の整備 15.7	13. 防犯 14.0	30. 地域商工業 13.2
伊勢志摩地域	18. 医療体制 40.7	31. 雇用 32.5	38. 公共交通機関 21.1	37. 道路の整備 19.5	17. 子育て環境 42. 過疎地域等の振興 13.8
東紀州地域	18. 医療体制 59.9	31. 雇用 39.0	36. 高速交通網 26.6	37. 道路の整備 20.9	38. 公共交通機関 18.6

- ・ 全体の上位5項目では、「医療体制」「公共交通機関」「道路の整備」が全地域で上位5項目としてあげられており、「雇用」「子育て環境」は3地域で上位5位までに入っている。
- ・ 上記以外の項目では、「快適なまちづくり」が北勢地域で、「防犯」「地域商工業」が中南勢地域で、「過疎地域等の振興」が伊勢志摩地域で、「高速交通網」が東紀州地域で上位5位までに入っている。

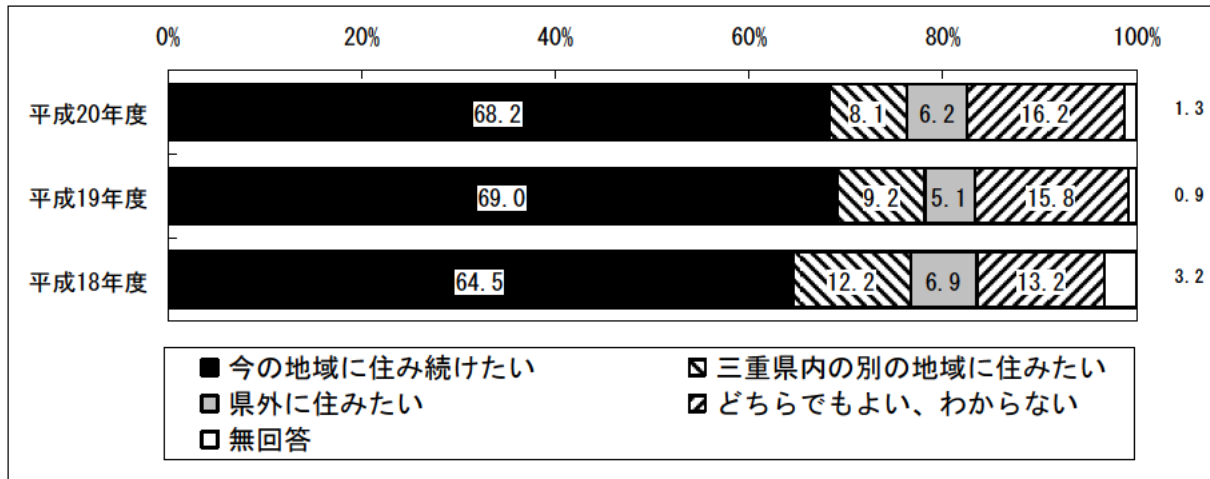


(4) 今後の定住意向

問2-4 あなたは今後も現在の地域に住みたいと思いますか。(回答は単一選択式)

○全体

(集計資料 p. 110)



平成20年度

全体では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人が68.2%と最も多くなっている。また、「三重県内の別の地域に住みたい」が8.1%、「県外に住みたい」が6.2%となっている。

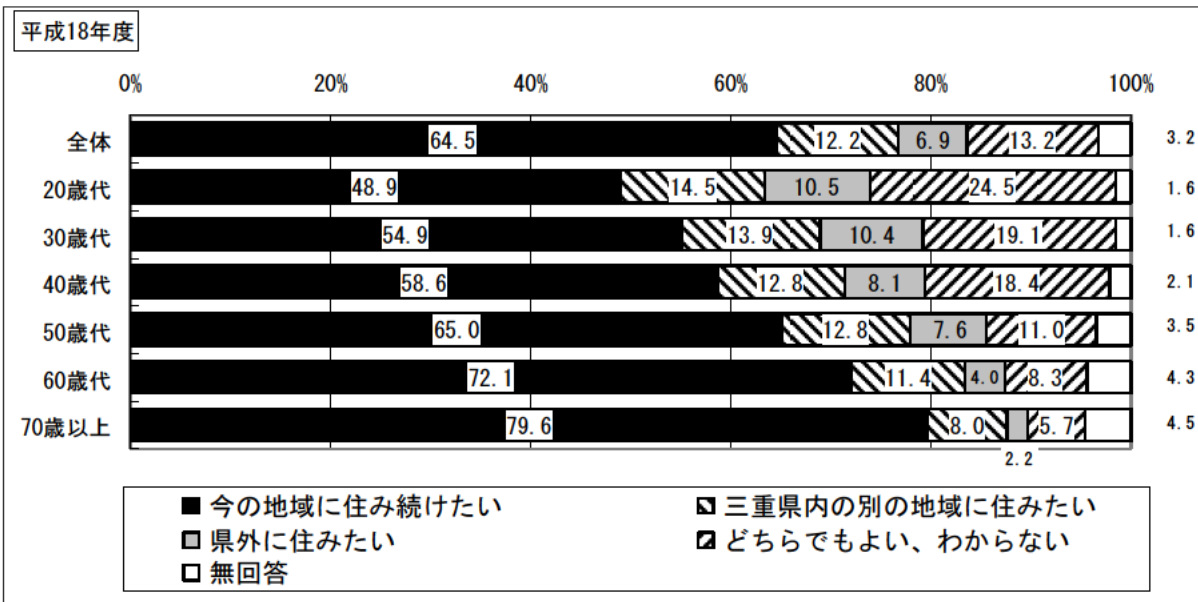
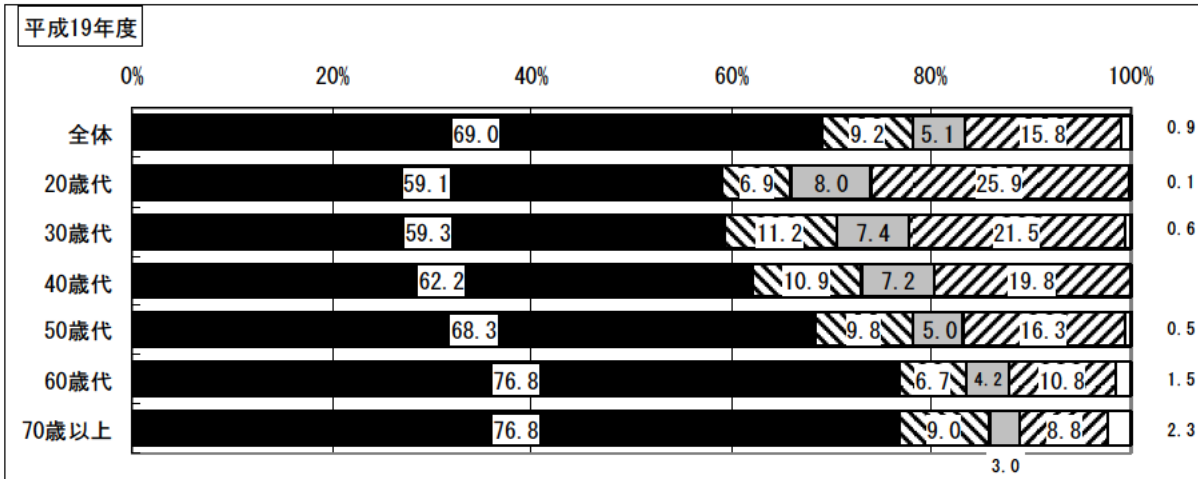
平成18年度、平成19年度との比較

「今の地域に住み続けたい」は18年度から19年度にかけて4.5ポイント増加しているが、19年度から20年度にかけては、大きな変化はみられない。

○年齢層別

(集計資料 p. 110)





平成20年度

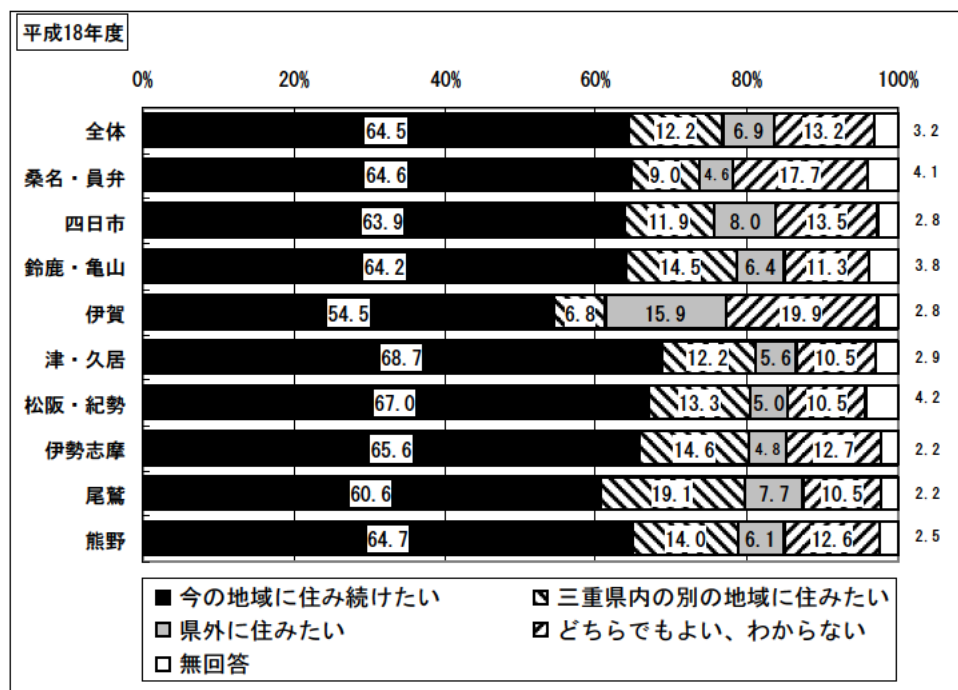
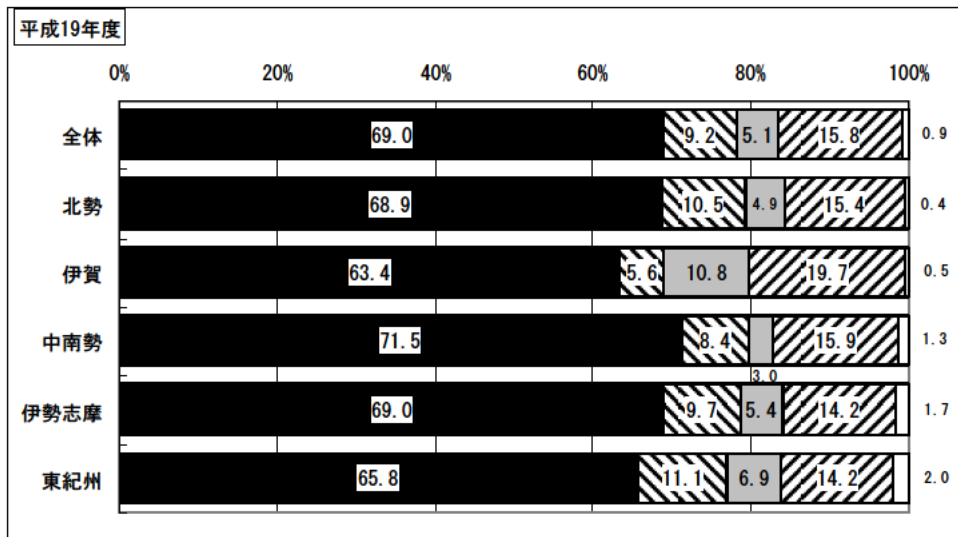
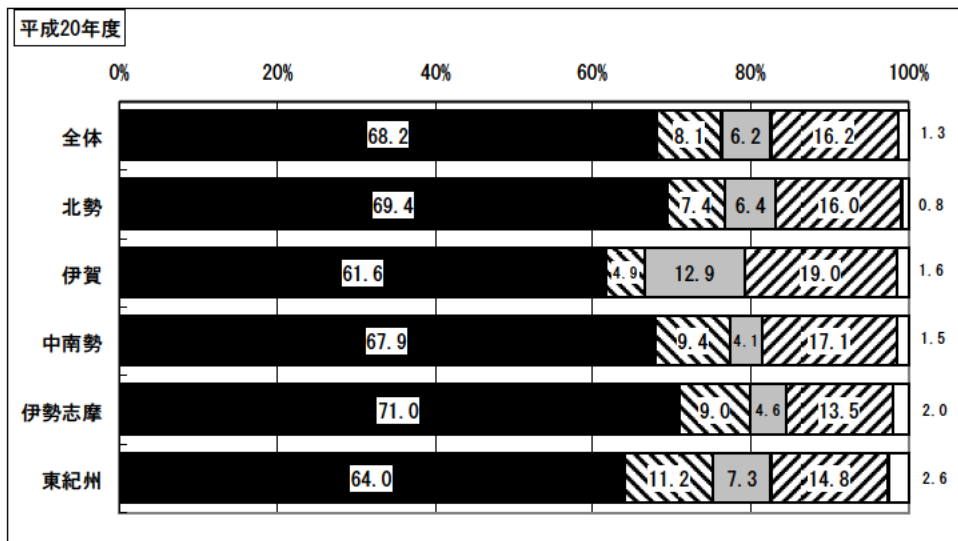
年齢層別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、50歳以上で7割以上を占めているのに対し、30～40歳代では約6割、20歳代では5割と少なくなっている。

平成18年度、平成19年度との比較

「今の地域に住み続けたい」は18年度から19年度にかけては、70歳以上を除く全ての年代で増加しており、特に20歳代では10.2ポイント増加している。しかし、19年度と20年度の20歳代を比較すると、8.8ポイント減少している。

○地域別

(集計資料 p. 110)



### 平成 20 年度

地域別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、伊賀地域（61.6%）、東紀州（64.0%）が他地域に比べ少なくなっている。また、「県外に住みたい」は伊賀地域で1割を超えている（12.9%）。

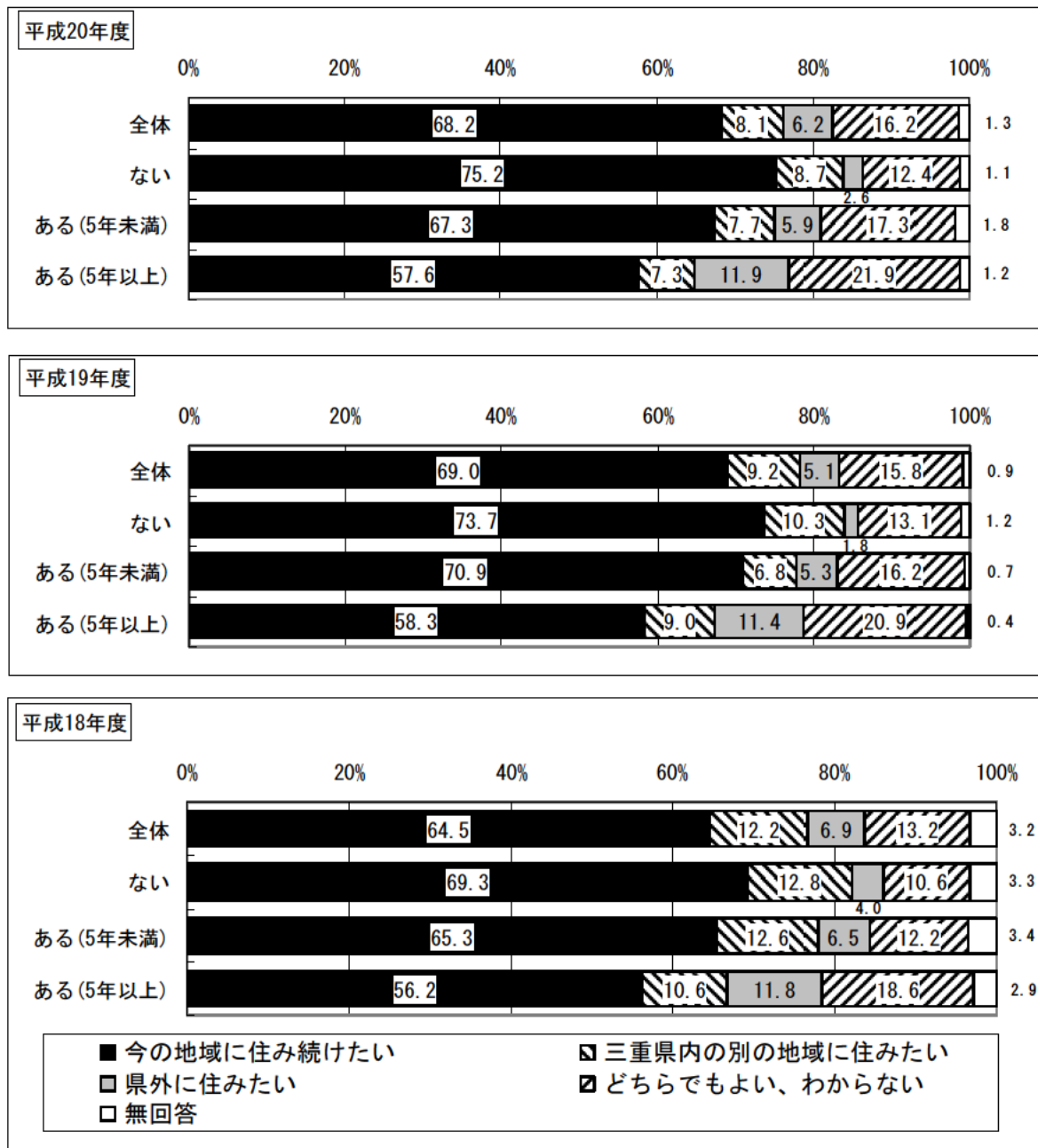
### 平成 18 年度、平成 19 年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた人は、18年度から19年度にかけては、地域の割振は異なっているものの全ての地域で増加している。19年度から20年度にかけては、大きな変化はみられない。



## ○県外在住の経験別

(集計資料 p. 110)



### 平成20年度

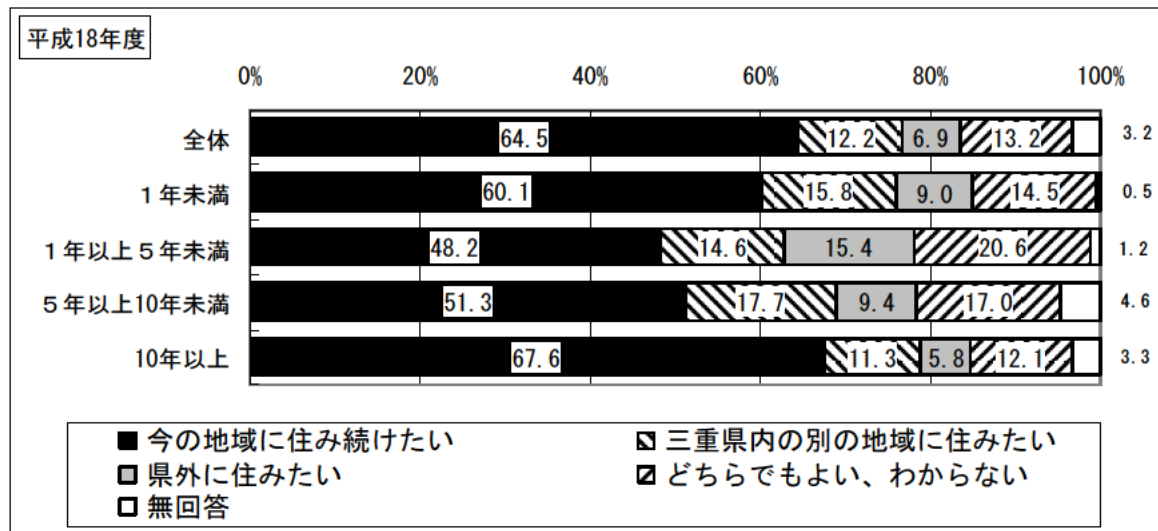
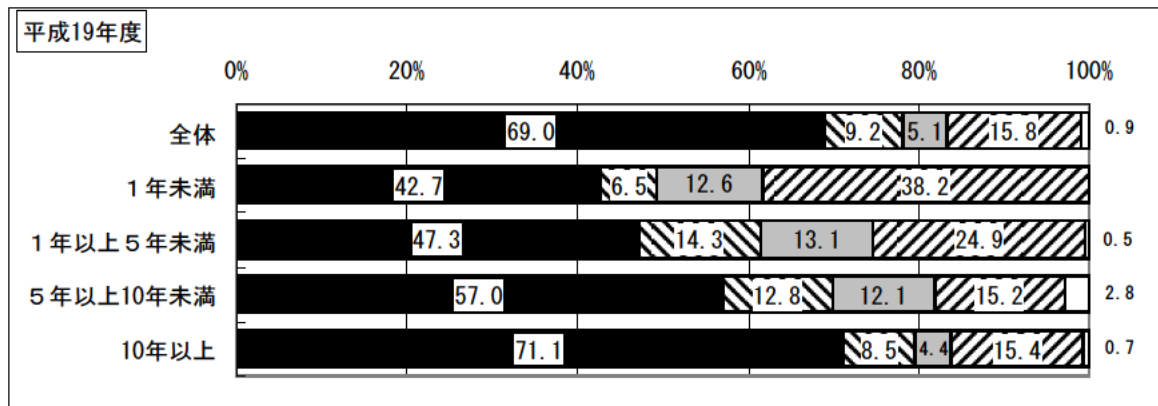
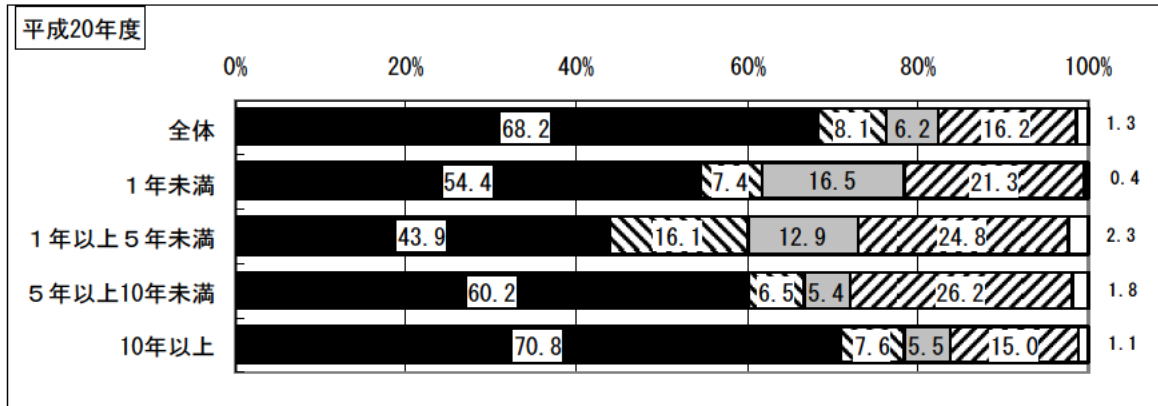
県外在住経験別では、「今の地域に住みたい」と答えた人は、県外在住経験が「ある人」に比べ「ない人」の方が多くなっている。

### 平成18年度、平成19年度との比較

「今の地域に住みたい」と答えた人は、18年度から19年度にかけては、県外在住経験に関わらず増加している。19年度から20年度にかけては、県外在住経験がある人（5年未満）は減少している。

## ○居住年数別

(集計資料 p. 110)



### 平成20年度

居住年数別では、「今の地域に住み続けたい」と答えた人は「10年以上」が70.8%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(60.2%)、「1年未満」(54.4%)、「1年以上5年未満」(43.9%)の順となっている。

### 平成18年度、平成19年度との比較

「今の地域に住み続けたい」と答えた、居住年数が1年未満の人は、18年度から19年度にかけては、17.4ポイント減少しているが、19年度から20年度にかけては11.7ポイント増えている。